

編集後記

2020年は本来東京オリンピック・パラリンピックの年でした。しかし、昨年の初冬から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により私たちの生活は大きく様変わりしました。学内から学生の姿や笑い声が消え、教員はパソコンに向かって、イヤホーンをして講義をしています。さらに、緊急事態宣言の発出に伴い、教員は実習施設との調整に追われる毎日でした。今までの日常がどれほど大切なことを身をもって知った1年でもありました。そんな中でも、感染予防対策、医療崩壊を防ぐことに英知をそそぐ人々に、逞しさを感じることも多々ありました。

さて本号では、研究報告2編、資料2編を掲載することができました。お忙しいところ、論文を投稿してくださった先生方、そして投稿者の熱意にこたえる丁寧な査読をしていただいた先生方に、心より感謝申し上げます。

コロナ禍で研究活動も思うように進まないこともあります。私たち看護職が取り組むべき課題が山積している時代ともいえるでしょう。今後も皆様の研究の成果を、看護学部紀要でご発表くださいますようお願いいたします。心よりお待ち申し上げます。

学部紀要編集委員長 宇佐美 久枝

椋山女学園大学看護学部『看護学研究』
学部紀要編集委員会 2020年度（令和2年度）

委員長

宇佐美久枝 Usami Hisae

委員

池俣 志帆 Ikemata Shiho

井野 恭子 Ino Kyoko